丹波市総合計画　令和6年度　施策評価シート

まちづくりの目標	6	丹波力を活かした創意ある元気なまち
施策目標	3	【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
施策の展開	① ② ③	観光資源の魅力を高める ストレスを感じることなく、観光を楽しめる環境を整備する 丹波市の観光を基幹産業化する

施策担当課	観光課
関係課	観光課

1　施策の現状・推移

5年後のまちの姿	・魅力ある観光地や本市の特産品を使った食事や土産物が楽しめます。 ・観光に係る環境整備が進み、観光客の満足度は高まり、リピーターが増加しています。

2　成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	年間観光入込客数	万人	目標	230	240	248	255	263	270	
			実績	222.3	157.6	171.7	197.0	195.3	197.7	
	来訪者の満足度	%	目標	－	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	
			実績	76.8	82.2	81.0	74.8	75.0	82.5	
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	人件費	千円	実績	61,734	78,940	75,660	67,030	56,782	61,069	
	事業費	千円	実績	210,494	260,435	416,242	280,078	165,592	187,593	
	計	千円	実績	272,228	339,375	491,902	347,108	222,374	248,662	
	うち一般財源	千円	実績	244,421	224,445	233,535	182,808	173,996	180,516	

3　環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	【国】インバウンド関連の支援事業に力を入れている。 【県】大阪・関西万博の関西パビリオン兵庫県ゾーンで兵庫県の魅力PRや、兵庫県全体をパビリオンに見立てた「ひょうごフィールドパビリオン」の展開により万博からの誘客促進と、その後につながる誘客・周遊促進に力を入れている。
市民ニーズの動向	コロナにより団体旅行から個人旅行が主流になっていたが、令和6年度においては、バス旅行など団体旅行が回復している。また、インバウンドにおいても回復しており、国内主要観光地においてはオーバーツーリズム化している。

4　評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	観光入込客数は、前年度実績とほぼ同じ数値で推移している。個人旅行及び団体旅行が回復してきているが、季節ものはなめぐりやもみじめぐりなど、丹波市以外へ行かれるケースがあるのか自然物に関する入込客数が減少している。
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	デジタル化という点では、デジタルマップによる周遊促進、万博を契機とした誘客促進の準備、観光アンバサダーによるPR等、丹波市の認知度向上等のための新たな取組を実施した。
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	―

5　今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	・認知度の向上、誘客及び周遊の促進、地域消費額の増大を図るため、2025年大阪・関西万博とその後を見据え、また、2030年神戸空港国際化を契機とした観光振興事業を展開していく。 ・指定管理者導入施設、公園等の適切な維持管理と効果的な利用について協議を行っていく。

●構成する事業一覧　（令和　6　年度実施事業）

事務事業名	予算小事業名	人件費【千円】	事業費【千円】	計・千円	うち一般財源	必要性	効果性	コスト	公平性
観光振興事業		33,630	86,841	120,471	76,070	A	A	B	該当なし
	観光総務費								
	観光振興事業								
公園・公衆トイレ維持管理事業		9,563	12,173	21,736	21,078	A	A	B	該当なし
	公衆トイレ維持管理事業								
	公園管理事業								
指定管理者導入施設管理事業（観光課）		16,124	78,691	94,815	81,414	A	B	B	A
	指定管理者導入施設管理事業								
受託施設管理事業		1,752	9,888	11,640	1,954	A	B	B	該当なし
	受託施設管理事業								
合計		61,069	187,593	248,662	180,516				

丹波市総合計画　令和　6　年度事務事業評価

事務事業名	観光振興事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18 ～　令和９　年度	
	所属長	川島　知記	担当	山内　吉一	担当

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち
		施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	(7)観光による地域振興
	根拠法令・個別計画等	観光立国推進基本法、丹波市観光・商工業振興ユニティプラン	

計画（PLAN）	事務事業	対象（誰を、何を）	本市を訪れた観光客、本市を訪れたことのない観光客、観光関連の事業者
		目的 ベストな状態 （期待される効果）	・多くの観光客が本市の魅力を知り、市内への来訪者が増加する。 ・観光資源の研磨・活用と本市の魅力発信により、本市の認知度及び丹波市ファンが増加する。 ・観光推進組織（丹波市観光協会）による市内周遊の促進と、地域が儲かる仕組が構築するなどにより観光が基幹産業になっている。
		概要 （具体的手段・全体計画）	・観光資源の研磨・活用 ・観光情報の発信（観光サイトSaturdayTamba・デジタルマップ・リーフレット・広告等） ・観光情報の発信（丹波市観光アンバサダー任命、アンバサダー及びサポーターのＳＮＳ等によるＰＲ） ・補助金による支援（丹波市観光協会補助、周遊バス旅行促進事業補助、タクシー等利用による周遊促進事業補助金の試行、観光施設整備事業補助） ・観光推進組織（丹波市観光協会）による観光戦略事業 ・SATURDAYTAMBA記事更新業務委託（委託先：㈱神戸新聞事業社中兵庫支社） ・丹波市周遊デジタルマップ運用業務委託（委託先：㈱まちづくり柏原） ・万博を契機とした丹波市誘客促進業務委託（委託先：㈱神戸新聞事業社中兵庫支社）

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　Ａ＋Ｂ	132,919	98,607	348,364	171,278	84,067	120,471	
直接事業費Ａ	90,475	58,506	319,038	136,176	59,999	86,841	
総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	42,444	40,101	29,326	35,102	24,068	33,630	
職員従事者数（人・年）Ｃ	5.46	4.11	3.48	4.36	2.83	3.92	
【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,810	
人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	40,404	30,661	26,518	32,395	21,338	30,615	
会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	1.02	4.00	1.19	1.07	1.00	0.90	
【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	3,350	
人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	2,040	9,440	2,808	2,707	2,730	3,015	
歳入　特定財源	10,967	7,280	249,738	99,655	25,469	44,401	
国・県支出金	10,654	7,005	156,926	35,454	7,747	15,988	
借入金（地方債）	0	0	92,800	56,900	2,400	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	313	275	12	7,301	15,322	28,413	
一般財源	121,952	91,327	98,626	71,623	58,598	76,070	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	観光ホームページ、SNSの総レビュー件数（SaturdayTamba）	件	目標	-	200,000	229,000	235,000	257,000	260,000	
			実績	-	251,054	119,524	264,707	143,198	303,381	
成果	「道の駅」丹波おばあちゃんの里入込客数	人	目標	-	260,000	400,000	430,000	460,000	500,000	
			実績	370,344	282,123	252,423	393,696	394,784	404,424	
活動	メディアへの観光情報のプレスリリース回数	回	目標	-	5	10	10	10	10	
			実績	7	3	13	7	5	3	
			目標							
			実績							
コスト	観光ホームページ１レビュー当たり（観光振興事業のうち負担金補助を除く経費）	円	目標	-	26.0	59.0	91.4	44.4	59.2	
			実績	-	19.4	102.9	53.3	56.9	50.6	
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	・丹波市観光アンバサダー任命、アンバサダー及びサポーターのＳＮＳによるＰＲ等により、観光サイトSaturdayTambaの総レビュー件数がHP、Instagramともに倍増した。 ・道の駅丹波おばあちゃんの里入込客数は、リニューアルオープン効果もあり令和４年度は393,696人と大幅に増加し、令和５年度も勢いそのままで約1,000人の増加、令和6年度はさらに約10,000人の増加となった。 ・コストについては、事業費は前年度より増加したが、観光サイトの総レビュー件数の増加により、１レビュー50.6円とコストダウンにつながった。

事務事業名	観光振興事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　令和９　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	丹波市の魅力発信により市の認知度を向上させるとともに、誘客及び周遊促進と地域内消費の増加により、地域活性化につなげるために重要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	デジタルマップ運用業務、観光アンバサダー活動業務、万博を契機とした誘客促進業務の取組により、観光ホームページ１レビュー当たりのコストが増加してきている。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	A	・情報発信では、SATURDAYTAMBAのHP及びInstagramによる周知を行っており、フォローの増加、プレビュー数も波があるが観光アンバサダーの影響もあり数値が上がっている。 ・デジタルマップの利用数も一定数あり、引続きデジタルマップを活用した周遊促進を図っていく。 ・周遊バス補助の利用が増えたこともあり、道の駅丹波おばあちゃんの里を行程に入れた市内周遊も増加している。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
市内周遊バス補助金や、観光協協会のイベント補助金の実績が増加していることから、これらの事業による市内誘客及び周遊促進が出来ている。また、本年度から任命した丹波市観光アンバサダーご自身のSNS等で丹波市をPRすることで、丹波市の認知度向上及び、そのSNSを見て丹波市に来訪され特産品を購入される動きがあることを実感する。

【課題】
丹波市への入込客数は約197万8千人と依然としてコロナ前にも回復していない状況から、引続きPRを行い、来年度においては万博を契機とした誘客及び周遊促進を図っていく必要がある。

今後の方向性・改善策等

大阪・関西万博及び大河ドラマ「豊臣兄弟！」を契機とし、効果的なＰＲによる認知度向上と、誘客・周遊促進につなげ地域活性化を図る取組を行う。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				✓
現状維持				
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	観光総務費	1,117	1,199	1,268	1,127	7,175	
2	観光振興事業	39,522	49,578	58,279	58,872	79,666	
3	観光拠点整備事業	7,162	124,127	72,475			
4	大河ドラマを活かした観光推進事業	10,705					
5	観光振興事業（繰越分）		7,625				
6	観光拠点整備事業（繰越分）		136,509	4,154			
7							
8							
9							
10							
合計		58,506	319,038	136,176	59,999	86,841	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　6　年度事務事業評価

事務事業名	公園・公衆トイレ維持管理事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18 ～　無期　年度	
	所属長	川島　知記	担当	中川　秀晴	担当　畑　幸一

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目	(7)観光による地域振興	
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン		

計画（PLAN）		
事務事業	対象（誰を、何を）	公園、公衆便所利用者
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	各施設において適切に維持管理を行い、利用者が、安全・安心、そして清潔で気持ちよく利用できる。
	概要 （具体的手段・全体計画）	・公園（水分れ公園、川代公園、井原であい公園、桜堤公園、長谷大池展望台、横峰山頂公園）の維持管理 ・公衆便所（柏原町観光トイレ、甲賀山公園公衆便所、岩瀧寺渓谷公衆便所、もみじの里公衆便所、仏師の里公衆便所、興禅寺下休憩所トイレ、石龕寺下公衆便所、やぐら公園トイレ、大名草公衆便所【近畿自然歩道】、谷川駅前公衆トイレ）の維持管理 ・実施方法：業務委託 ・委託先　公園管理：（公財）丹波市シルバー人材センター、（株）ネクステ、上久下地区自治振興会、井原自治会、国領自治会、上垣市島ジュニアの会 公衆便所：成松連合区、大名草自治会

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出	総事業費　A＋B	26,717	62,702	34,613	68,479	33,769	21,736	
	直接事業費A	19,993	49,519	18,558	54,924	19,763	12,173	
	総人件費計（E＋H）B	6,724	13,183	16,055	13,555	14,006	9,563	
	職員従事者数（人・年）C	0.86	1.59	1.98	1.30	1.30	1.07	
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,810	
	人件費E＝C×D	6,364	11,861	15,088	9,659	9,802	8,357	
	会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.18	0.56	0.41	1.54	1.54	0.36	
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	3,350	
	人件費H＝F×G	360	1,322	968	3,896	4,204	1,206	
歳入	特定財源	260	34,849	291	47,765	8,300	658	
	国・県支出金	206	475	206	31,957	206	206	
	借入金（地方債）	0	34,300	0	12,200	8,000	0	
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
	その他特財	54	74	85	3,608	94	452	
	一般財源	26,457	27,853	34,322	20,714	25,469	21,078	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	公園利用者数	人	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	
			実績	41,127	35,512	25,410	71,143	71,855	47,420	
活動	公衆便所清掃回数	回	目標	-	790	790	790	790	795	
			実績	-	790	801	800	794	795	
活動	トラブル対応件数	件	目標	-	0	0	0	0	0	
			実績	-	11	20	18	20	31	
			目標							
			実績							
コスト	公園１施設当たりコスト（工事請負費を除く）	千円	目標	-	-	3,160	3,160	3,160	3,160	
			実績	-	3,161	2,893	3,035	2,652	2,174	
コスト	公衆便所１施設当たりコスト（工事請負費を除く）	千円	目標	-	-	800	800	800	800	
			実績	-	800	954	865	888	730	

指標の推移等の背景・分析	・公園の利用者数が減少した要因としては、水分れフィールドミュージアムのへの来場者数が減少したことが一つの要因となっている。（リニューアル当初は増加） ・公園及び公衆便所の１施設当たりコストは、委託料の賃金は上がっているが、公園及び公衆トイレに係る職員人件費が減少したことにより、コストが低くなっている。

事務事業名	公園・公衆トイレ維持管理事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	・公園は市内外の方々にとって憩いの場であり、子育て等を応援するまちづくりをするうえで必要な事業である。 ・公衆便所はイベント時、桜や紅葉等の時期に観光目的等で来られた際に利用されることが多く、両事業とも必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	維持管理については、丹波市シルバー人材センター、（株）ネクステ、振興会及び自治会等となっており、既に低コストで実施している。必要な経費のほとんどが人件費であり、コスト削減は困難である。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	A	・指標に対する評価として、水分れフィールドミュージアムの利用者数が減少したことにより、利用者数が大幅に減少した。 ・１施設当たりのコストについては、委託料の賃金が上昇しているが、職員人件費が減少したことによりコストが下がった。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・川代公園の利用について、電話やFAXにより受付けていたが、ネットによる受付になったことで事務手続きが軽減できた。
【課題】
・トラブルに対する対応策の検討（つまり、動作不良、簡易修繕）
・将来に向けた整備（予防保全）に係る各施設の状況把握

今後の方向性・改善策等

・設備の改修は、ある程度完了したが、老朽化していく躯体等の改修計画の策定及び実施。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	公衆トイレ維持管理事業	5,106	9,265	13,807	3,861	3,854	
2	公園管理事業	38,691	9,293	34,317	6,922	8,319	
3	過年発生分観光施設災害復旧事業	5,722					
4	公衆トイレ維持管理事業（繰越分）			2,068			
5	公園管理事業（繰越分）			4,732	8,980		
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		49,519	18,558	54,924	19,763	12,173	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　6　年度事務事業評価

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業（観光課）				
事業担当課	産業経済部　観光課			事業期間	平成　18 ～　無期　年度
	所属長	川島　知記	担当	中川　秀晴	担当　細見　成一

位置づけ			
	総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち
		施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン	

計画（PLAN）		
事務事業	対象（誰を、何を）	指定管理者に指定された団体及び施設利用者
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	観光課が所管する公の施設の管理・運営を行う上で、民間のノウハウを導入または施設に特化した独自の方法により、施設利用者の消費拡大、市民雇用の増加などにより地域の活性化が図れる。
	概要 （具体的手段・全体計画）	・指定管理者導入施設（丹波悠遊の森、旧氷上高等小学校校舎、ウッディプラザ山の駅、丹波いっぷく茶屋、今出川親水公園、ゆりやまスカイパーク、薬草薬樹公園、大杉ダム自然公園）の健全運営に対する支援及び施設の躯体にかかる大規模工事及び修繕を実施する。 ・今後の施設のあり方（選定方法、譲渡・廃止等）を検討する。 ・実施方法：指定管理 ※丹波市立ゆりやまスカイパーク条例は、令和７年３月31日で廃止した。 ※丹波市立薬草薬樹公園条例は、令和７年３月31日で廃止し、同施設は、同年４月１日から丹波市立都市公園条例に含まれる。

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出	総事業費　Ａ＋Ｂ	103,152	166,375	97,021	97,212	93,030	94,815	
	直接事業費Ａ	91,770	144,449	70,336	80,821	76,337	78,691	
	総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	11,382	21,926	26,685	16,391	16,693	16,124	
	職員従事者数（人・年）Ｃ	1.33	2.80	3.09	2.08	2.08	1.79	
	【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,810	
	人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	9,842	20,888	23,546	15,454	15,683	13,980	
	会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	0.77	0.44	1.33	0.37	0.37	0.64	
	【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	3,350	
	人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	1,540	1,038	3,139	936	1,010	2,144	
歳入	特定財源	8,537	64,836	26	13,523	5,330	13,401	
	国・県支出金	0	7,868	0	13,492	0	0	
	借入金（地方債）	4,000	56,500	0	0	5,300	8,500	
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
	その他特財	4,537	468	26	31	30	4,901	
	一般財源	94,615	101,539	96,995	83,689	87,700	81,414	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	施設利用者数	人	目標	210,000	180,000	183,600	187,200	190,800	194,400	目標 令和２年度を基本 毎年度２%増
			実績	174,564	103,461	113,173	128,453	132,141	128,901	
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	１施設当たりコスト	千円	目標	-	-	11,580	12,947	12,947	12,947	
			実績	-	11,580	11,612	14,193	9,390	11,073	
コスト	指定管理料0円の施設数	施設	目標	-	9	9	8	8	8	
			実績	-	3	3	2	2	2	

指標の推移等の背景・分析	・利用者数は、昨年度に比べ減少しており、コロナ禍前にはまだまだ及ばない状況が続いている。各指定管理者も利用者増に向け取り組んではいるが、目標とする人数には達していない。特に所管している施設のキャンプ場等は、天候に左右され利用者が減少している。 ・１施設当たりのコストについては、ここ数年の物価上昇や賃金の高騰等があり、これまでと同様の管理ではコストは上昇していく傾向ににある。

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業（観光課）		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	各施設の条例において指定管理者に行わせるものとなっており、住民の福祉の向上や観光振興等を目的とした公の施設であるため、必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	各施設は、指定管理者により管理運営を行っており、業態や施設規模等が違うため、サービスの提供を維持しつつ、低コストを実現するのは難しい面がある。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	各指定管理者により、利用者を増加させるよう経営努力はされているものの、暑さや雨による天候が、利用者数減少の要因の一つだと考える。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	施設によってではあるが、利用料金制を採用し、料金を指定管理者が定め、受益者（利用者）からもらっているため問題はない。

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・指定管理者により適正に維持管理ができている。
・指定管理者同士の連携会議を開催し、情報共有等が図れている。また、インスタを登録し、更なる利用者増を目指している。

【課題】
・ゆりやまスカイパーク条例廃止後の解体撤去等
・指定管理料の算定やガイドラインの見直し
・整備計画に係る各施設の躯体や設備等の状況把握
・薬草薬樹公園の所管替え（漢方の里総合運動公園としての指定管理　令和11年度～）
・丹波市都市公園条例の制定により、丹波市薬草薬樹公園条例の廃止に伴う、名称「漢方の里総合運動公園」変更対応
・賃金及び物価スライド制度の導入
・旧丹波少年自然の家の所管替え

今後の方向性・改善策等

・指定管理者同士の連携の強化（観光課から産業経済部全体で取り組む）
・老朽化が進んでいく施設の改修計画の策定と実施
・薬草薬樹公園の所管替え（令和８年度以降　観光課→文化・スポーツ課）
・旧丹波市薬草薬樹公園の名称が「漢方の里総合運動公園」に変更になったことに伴う、対応（施設内外）
・旧丹波少年自然の家の所管替え（総合政策課→観光課）

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				✓
現状維持				
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	指定管理者導入施設管理事業	121,779	70,336	80,821	76,337	68,937	
2	指定管理者導入施設管理事業（繰越分）	22,670				9,754	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		144,449	70,336	80,821	76,337	78,691	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　6　年度事務事業評価

事務事業名	受託施設管理事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18 ～　無期　年度	
	所属長	川島　知記	担当	中川　秀晴	担当　細見　成一

位置づけ			
	総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち
		施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン	

計画（PLAN）		
事務事業	対象（誰を、何を）	受託施設に訪れた利用者
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	受託施設（国道175号山南休憩施設、簡易パーキング氷上）を活用し、観光客への観光情報の発信及び「おもてなしの心」を基本とし、本市のイメージアップにつなげる。
	概要 （具体的手段・全体計画）	受託施設の適切な維持管理と観光情報の発信を行う。 ・実施方法：業務委託 ・委託先：国道175号山南休憩施設⇒小川地区自治振興会 簡易パーキング氷上⇒（一社）丹波市観光協会

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出	総事業費　A＋B	9,440	11,691	11,904	10,139	11,508	11,640	
	直接事業費A	8,256	7,961	8,310	8,157	9,493	9,888	
	総人件費計（E＋H）B	1,184	3,730	3,594	1,982	2,015	1,752	
	職員従事者数（人・年）C	0.16	0.50	0.45	0.26	0.26	0.22	
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,810	
	人件費E＝C×D	1,184	3,730	3,429	1,932	1,960	1,718	
	会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.00	0.00	0.07	0.02	0.02	0.01	
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	3,350	
	人件費H＝F×G	0	0	165	51	55	34	
歳入	特定財源	8,043	7,965	8,312	8,157	9,279	9,686	
	国・県支出金	7,801	7,716	8,068	7,876	9,006	9,402	
	借入金（地方債）	0	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
	その他特財	242	249	244	281	273	284	
	一般財源	1,397	3,726	3,592	1,982	2,229	1,954	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	施設利用者数	人	目標	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	
			実績	92,223	79,705	63,244	88,786	86,925	84,173	
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	1施設当たりコスト	千円	目標	-	-	5,953	5,070	5,754	5,820	
			実績	-	5,846	5,952	5,527	5,754	5,820	
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	・減少傾向が続いているが、具体的な要因は、分析できていない。 ・１施設当たりのコストは、賃金の上昇により維持管理費は、少しずつだが上昇傾向にある。

事務事業名	受託施設管理事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	休憩施設としてだけでなく、観光情報の発信拠点としての役割や市内周遊を促進するため必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	維持管理に係る費用は国からの委託金で賄っており、経費の大半が人件費となっているため、コスト削減は困難である。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	コロナ禍による影響はほとんどなくなったが、まだまだ目標値には達成していない状況である。簡易パーキング氷上は、指定管理施設が併設されており、その運営状況も重要になってくる。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・両施設とも簡易パーキングではあるが、道路情報をはじめ、市の観光情報の発信ができている。
【課題】
・受託者となる候補者が少ない。

今後の方向性・改善策等

両施設とも経費の大半を人件費が占めており、安定的に人材を確保する仕組を構築する。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	受託施設管理事業	7,961	8,310	8,157	9,493	9,888	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		7,961	8,310	8,157	9,493	9,888	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	